

令和6年7月19日

枚方市立蹉跎小学校
保護者の皆様

枚方市立蹉跎小学校
校長 友田 充孝

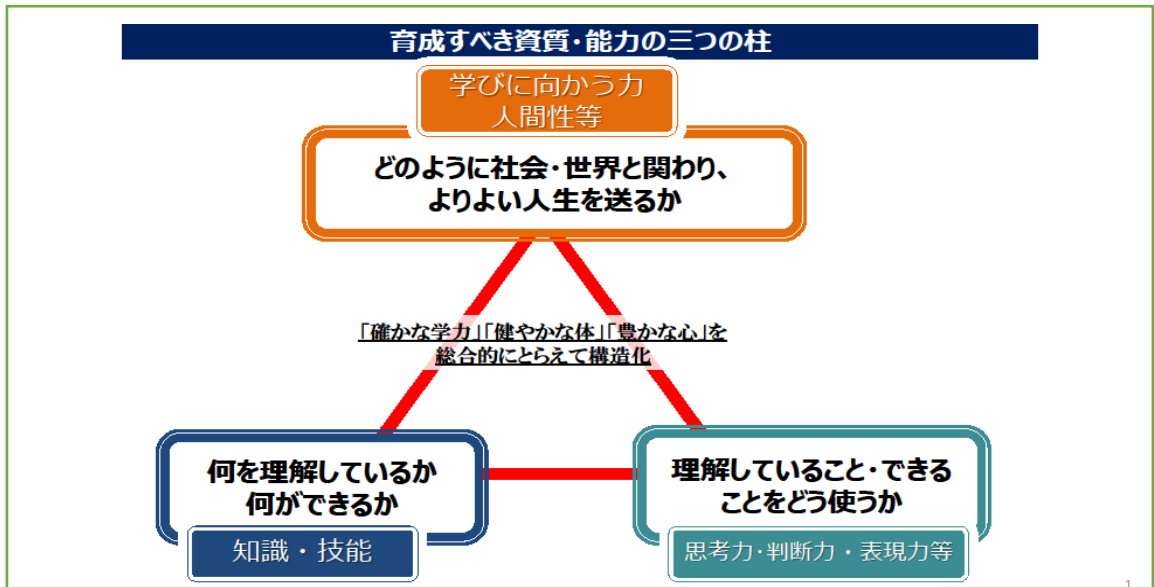
「あゆみ」について

平素は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。本日、無事に全児童と共に第1学期終業式を迎えることができました。

さて、表題の件について1年生にとっては、初めての「あゆみ」をお渡しすることもあり、改めてその意義と内容についてお知らせいたします。

本校で作成・お渡ししている「あゆみ」は、学習指導要領（文部科学省（国）が定めた公教育の基準となるもの）に基づいて作成した教育計画に則って実施した教育活動に対して、お子様が学んだ過程や成果を認め、励ますために評価したことを記したものです。

指導と評価の基本となる授業は、今までの「何かができる」だけではなく、自ら学びに向かい、友達と高め合っていく姿勢が求められています。『主体的・対話的な深い学び』と言われるものです。また、育成させたい資質・能力を次のように設定しています。



評価の観点

上の図のように、育成すべき資質・能力を「知識・理解」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つに設定したことにより、各教科における観点別学習状況の評価の観点も、次の3観点到に整理されました。

- (1) 知識・技能 (2) 思考・判断・表現 (3) 主体的に学習に取り組む態度

あゆみについて

文部科学省が評価の観点を整理したことに基づき、令和2年度から本校においても、あゆみを下記のように改訂しております。

記

1. 従来の国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育に加え、5, 6年外国語も、3段階評価を行います。(よくできる・できる・もう少し)

※1年生の1学期のみ2段階評価(できる・もう少し)

2. 3段階評価を行う教科の観点は、すべて次の3観点で評価し、単元ごとの評価はしません。

(1) 知識・技能

(2) 思考・判断・表現

(3) 主体的に学習に取り組む態度

※どの単元においても上記の3観点が含まれており、単元ごとに表記することが難しく、また、新学習指導要領では、子どもの力を3観点で見えていくことが重視されているためです。

3. 文章での評価は次の教科・領域です。学年末に評価を記載します。

(1) 特別の教科 道徳

(2) 総合的な学習の時間

(3) 外国語活動(3, 4学年)

※「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間」につきましては、子どもたちの成長を長い期間で見取った大きくくりな評価となるため、学年末のみの評価に改訂します。

4. 総合所見は、学習した内容やお子様の学校生活の様子の中で顕著に成長や成果の見られた事柄に対して端的に文章で示したものです。

保護者の皆様におかれましても、この3つの観点でお子様の成長を見取っていただきたいと思っております。各単元等での様子につきましては、個人懇談会でお話させていただきます。

ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。